

みんなで アテタンゴ

2~6人
18~28分
日曜日

ゲーム概要

りんごはどんな力を持っていますか？ 無人島の値段はいくらですか？ 質問しながら秘密の単語を特定しましょう。正解にたどり着いたらアテタンゴ！ たくさん単語を当てたら勝ちです！

内容物

お題カード 60枚

質問カード14枚



※ここで説明する対戦形式のルールは3~6人で遊べます。
2人で遊ぶ場合や協力形式で遊びたい場合は「協力的ルール(裏面)」を参照してください。

ゲームの準備

全てのお題カードを裏向きでよく混ぜて、一つの山にしてテーブル中央に置きます。
適当な方法で最初の親を決めてください。親以外は全員子になります。

ゲームの流れ

親(お題を知っている人)と子(それ以外の人)に分かれて、各自が親を2回担当するまでラウンドを行います。子はお題を当てることで、お題カードを獲得します。最もお題カードを集めた人が勝者となります。

ラウンドの準備

質問カードのうち、「ジャンル」「最初の文字」を取り、図のように離して置いてください。その後、「長さ」「音」「色」「気持ち」の4枚を取り、裏向きで混ぜてから一つの山にします。その他の質問カードは使用しません。



①

ラウンドの流れ

親はお題カードを1枚引き、自分だけが見て、以下のように今回のお題を確認します。
お題は、お題カードの山の上に見える数字と、今引いたお題カードで決まります。



子の誰かが、一番上の質問カード(ジャンルは何ですか?)を読み上げてください。
親はその質問に答えます。お題のすぐ下にジャンルが書かれているので、それを答えてください。

※「6」のお題にはジャンルが書かれていません。親の感覚で当てはまるジャンルを答えてください。ジャンルを答えるのが難しければ、他の数字のお題を選んでかまいません。

さあ、これからが本番です！

子の誰かが質問カードを1枚めくり、質問カードの列に並べます。そして、その質問カードを読み上げます。
親は中立の立場でその質問に答えます。主観で答えてもかまいませんし、客観的に答えてもかまいません。「個人的には○ ○だけど、一般的には○○だと思う」というような答え方でもかまいません。ただし、お題の単語そのものが含まれている答え方はできません(例：そば→そば屋)。答え方の例は裏面を参照してください。



そして子は、お題の単語が何かを推測します。単語が思い浮かんだらすぐにその単語を言います。これをチャレンジと呼びます。質問ごとに、全ての子にはチャレンジ権が1回あります。質問の答えを聞いた後、好きなタイミングで各自1回チャレンジできます。

②

お題を当てることができれば、正解した子は親から今回のお題カードを受け取ります。これは正解した証です。間違っても正解に近ければ、親は「惜しい!」とってください。また、全く同じ単語でなくても、お題と同じ物を指しているのであれば正解となります。例：大判焼きと今川焼き



正解者が出たら、「ラウンド終了時の処理(下記参照)」に進んでください。

子が全員チャレンジしても正解がでなかった場合、次の質問に移ります。子の誰かが新たな質問カードを1枚めくり、質問カードの列に加えます。そしてそれを読み上げてください。

再び各自1回チャレンジできます。

これを質問カードの山が尽きるまで繰り返します。山札が尽きたら、次が最後のチャンスです！6つ目の質問カードとして、ラウンド準備時に脇に除けておいた「最初の文字」を使用します。

6つ目の質問カードに対しても正解がでなかった場合、親はお題を発表してください。使用したお題カードは、箱に戻します。
そして「ラウンド終了時の処理」に進みます。

ラウンド終了時の処理

親が時計回りで移ります。「ラウンドの準備」を行い、次のラウンドを始めてください。

ゲームの終了

各自が親を2回担当するまでラウンドを行ったら、ゲーム終了です。手元のお題カードを数え、最も枚数が多い人が勝者です。同数の場合は勝利を分かち合ってください。

※1枚目の「ジャンル」の質問カードに対してはチャレンジ権がありません。チャレンジできるのは2枚目の質問カードからです。

※親が質問に答えた後、子が誰もチャレンジしそうにない場合、親は5秒数えて次の質問に移ります。

③

上級ルール

「ラウンドの準備」を以下のように変更します。

「ジャンル」と「最初の文字」は通常通り準備します。「長さ」「音」「色」「気持ち」の4枚の質問カードに、「場所」「頻度」「価格」「寿命」「動き」「感触」「材料」「力」を加えて混ぜ(計12枚)、ランダムで裏向きのまま4枚を取り出し、これを質問カードの山とします。この手順は毎ラウンド行うため、上級ルールではラウンドごとに質問内容が変化します。

協力ルール(2~6人)

協力ルールでは、上級ルールと同様に12枚の質問カードからランダムに4枚を取り出して質問カードの山を作り、ゲームを始めます。「ジャンル」と「最初の文字」は通常通り準備します。変更点は以下です。

- 質問ごとにチャレンジ権は1回しかありません。質問カードがめくられるたび、子は全員で相談して1回だけチャレンジできます。
- 正解した場合、直近で使用した質問カード1枚を箱に戻してください。今後、この質問カードは使用しません。その後、親が時計回りで移ります。

※「最初の文字」で正解した場合は、「最初の文字」を箱に戻します。この場合は、以降、「ラウンドの準備」で作る質問カードの山は5枚になります。

- 6つ目の質問カードに対しても正解がでなかった場合、全員の敗北となります。
- 9ラウンド連続で正解したら、次の「ラウンドの準備」の際に質問カードが足りないはずですが、おめでとうございます！クリアです！その後も少ない枚数の質問カードでゲームを進めてください。最後は「ジャンル」と他1枚の計2枚の質問カードで挑戦することになります。これを正解したら、アテタンゴマスターです！

トラベルルール

実はこのゲーム、質問カードだけでも遊べます！親は適当な単語を思い浮かべて、お題としてください。「ボードゲーム」や「マンガ」などもお題にできます。質問カードだけを持って、旅行のおともやちょっとした空き時間にどうぞ！

質問カード詳細

質問カードに対する答え方の例を示します。親は中立の立場で答えますが、適切な難度を設定する盛り上げ役でもあります。

ジャンル

1~5のお題の場合、お題の下にジャンルが表記されているので、それをそのまま答えてください。6のお題は、親の感性で答える必要があります。その際、「物質」のように広いジャンルだと難しくすぎますし、「天体」のように狭いジャンルだと簡単すぎるでしょう。適切なジャンルを選ぶ必要があります。難しくければ他のお題を選んでかまいません。

最初の文字

単語の1文字目を答えます。ただし、お題と同じ物を指す場合は、異なる単語でも正解になることに注意してください。例：大判焼きと今川焼き

以下の質問については、基本的に自由に答えてかまいません。答えるのが難しい場合は、各項目を参考にしてください。

音

その物を振ったときの音、叩いたときの音、落とすときの音、鳴き声、オノマトベなど、様々な答え方ができます。

色

見た目の色、印象的な色などを一つまたは複数答えることができます。

気持ち

楽しい、嬉しい、悲しい、辛い、甘いなどの様々な答え方があります。

長さ

縦、横、高さで大きさを答えることができます。あるいは、「凄く大きい」や「アリのくらの大きさ」といった答え方もできます。

力

物が持つ様々な力を答えます。自動車には早く移動する力がありますし、みかんには実る力があります。「ほどほどの力」といった曖昧な表現、影響力や瞬発力といった答え方もできます。

寿命

生き物だけではなく物にも寿命はあります。食べ物であれば消費期限、資格であれば有効期間を答えてかまいません。

材料

何でできているのかを一つまたは複数答えることができます。

感触

ごつごつしている、すべすべしているなど触った際の印象を答えます。

動き

その物の動きをジェスチャーで表現します。あるいは、口頭で説明してもかまいません。

価格

「安ければ〇〇円、高ければ〇〇円」など幅を持って答えることができます。通常値が付かない物についても自分にとっていくらの価値があるのかを考えて答えます。

頻度

その物を見かける頻度です。週1回や毎日など具体的な数で答えます。

場所

その物がありがちな場所を答えます。お題の単語そのものが含まれている答え方はできません。例：そば→そば屋、バナナ→バナナ園

クレジット

ゲームデザイン：カナイセイジ、郡山喜彦

アートワーク：りよりりよ

説明書レイアウト：まあや

編集：岡野翔太

スペシャルサンクス：父、母、おしょキャスのみんな、テストプレイに協力してくださった方々

参考文献：アキネーター、ジョゼことばカード、ことば落とし、バルダーズ・ゲート3

販売元：東京都港区南青山 2-2-15

ForGames

<https://forgames.jp>



©2024 ForGames

お問い合わせ

内容物の欠品、ルールの不明点に関する質問については、<https://forgames.jp/> のお問い合わせフォームからご連絡ください。